

第1類医薬品

医薬品を正しく購入するための
説 明 文 書**バポナ**[®]

使用前には必ず添付文書をお読み下さい。

1	名 称	バポナハーフ殺虫プレート																		
2	成分・分量	製品1枚(57.5g)中 ジクロロボス10.695g																		
3	用法・容量	1. 本剤は、開封したのち下記要領に従い使用すること。																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用場所</th> <th>対象害虫</th> <th>使用量</th> <th>使用法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下の場所のうち、人が長時間留まらない区域： 店舗、ホテル、旅館、工場、 倉庫、畜舎、テント、地下室</td> <td rowspan="2">ハエ、蚊</td> <td>12.5～15m³の 空間容積当たり 1枚</td> <td rowspan="2">天井又は壁から吊り下げる。</td> </tr> <tr> <td>便所</td> <td>4～6m³の空間容 積当たり1枚</td> </tr> <tr> <td>下水槽 浄化槽など</td> <td rowspan="3">ハエ、 ゴキブリ</td> <td rowspan="3">2.5～5m³の 空間容積当たり 1枚</td> <td>蓋、マンホールから(少なくとも水面より20cm以上の高さ)に吊り下げる。</td> </tr> <tr> <td>ごみ箱 厨芥箱など</td> <td>上蓋の中央部から吊り下げるか、又は上蓋の内側に取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>戸棚、キャビネットなど</td> <td>容器の上側から吊り下げる。</td> </tr> </tbody> </table>	使用場所	対象害虫	使用量	使用法	以下の場所のうち、人が長時間留まらない区域： 店舗、ホテル、旅館、工場、 倉庫、畜舎、テント、地下室	ハエ、蚊	12.5～15m ³ の 空間容積当たり 1枚	天井又は壁から吊り下げる。	便所	4～6m ³ の空間容 積当たり1枚	下水槽 浄化槽など	ハエ、 ゴキブリ	2.5～5m ³ の 空間容積当たり 1枚	蓋、マンホールから(少なくとも水面より20cm以上の高さ)に吊り下げる。	ごみ箱 厨芥箱など	上蓋の中央部から吊り下げるか、又は上蓋の内側に取り付ける。	戸棚、キャビネットなど	容器の上側から吊り下げる。
		使用場所	対象害虫	使用量	使用法															
		以下の場所のうち、人が長時間留まらない区域： 店舗、ホテル、旅館、工場、 倉庫、畜舎、テント、地下室	ハエ、蚊	12.5～15m ³ の 空間容積当たり 1枚	天井又は壁から吊り下げる。															
		便所		4～6m ³ の空間容 積当たり1枚																
		下水槽 浄化槽など	ハエ、 ゴキブリ	2.5～5m ³ の 空間容積当たり 1枚	蓋、マンホールから(少なくとも水面より20cm以上の高さ)に吊り下げる。															
ごみ箱 厨芥箱など	上蓋の中央部から吊り下げるか、又は上蓋の内側に取り付ける。																			
戸棚、キャビネットなど	容器の上側から吊り下げる。																			
2. 同一場所に2枚以上使用する場合は、それぞれ少なくとも1.5m以上の間隔で吊すこと。																				
3. 開封した本剤の有効期間は通常2～3箇月である。																				
4. 使用中に殺虫効果が低下したと思われるなら、本剤の表面に付着したゴミ又は水分などを紙や布でふきとると再び効果が高まる。																				
4	効能・効果	ハエ、蚊及びゴキブリの駆除																		
5	保健衛生上の危害を防止するために	1. 居室(客室、事務室、教室、病室を含む)では使用しないこと。なお、居室にある戸棚・キャビネット内などでも使用しないこと。																		
		2. 飲食する場所(食堂など)及び飲食物が露出している場所(調理場、食品倉庫、食品加工場など)では使用しないこと。																		
		3. 万一、身体に異常(倦怠感、頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、多汗等)が起きた場合は、使用を中止し、この文書を持って本剤が有機リン系の殺虫剤であることを医師に告げて診療を受けること。本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及び PAM 製剤(2-ピリジナルドキシムメチオダイド製剤)が有効であると報告されている。																		
		4. 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状(例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人は、使用前に医師又は薬剤師に相談すること。																		
		5. 表面に少量の液体が付着することがあるので、目に入らないよう注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には、この文書を持って眼科医の診療を受けること。																		
6	薬剤師が必要と判断する事項																			

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に役立たせるために必要な情報です。
2. 情報提供が不必要とされるお客様には、申し出により情報提供は行いません。
3. 服用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には服用を中止し、すぐに購入された店舗または薬剤師にご相談下さい。